令和６年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　問題（その１）

※　解答番号　1　～　54　について、それぞれの答えを選択し、解答用マークシートの該当番号を丁寧に塗りつぶしなさい。

※　問題文中の学習指導要領解説は、「小学校学習指導要領」・「中学校学習指導要領」については平成２９年３月告示（文部科学省）、「高等学校学習指導要領」については平成３０年３月告示（文部科学省）に関するものとする。

１　学習指導要領解説に関する次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

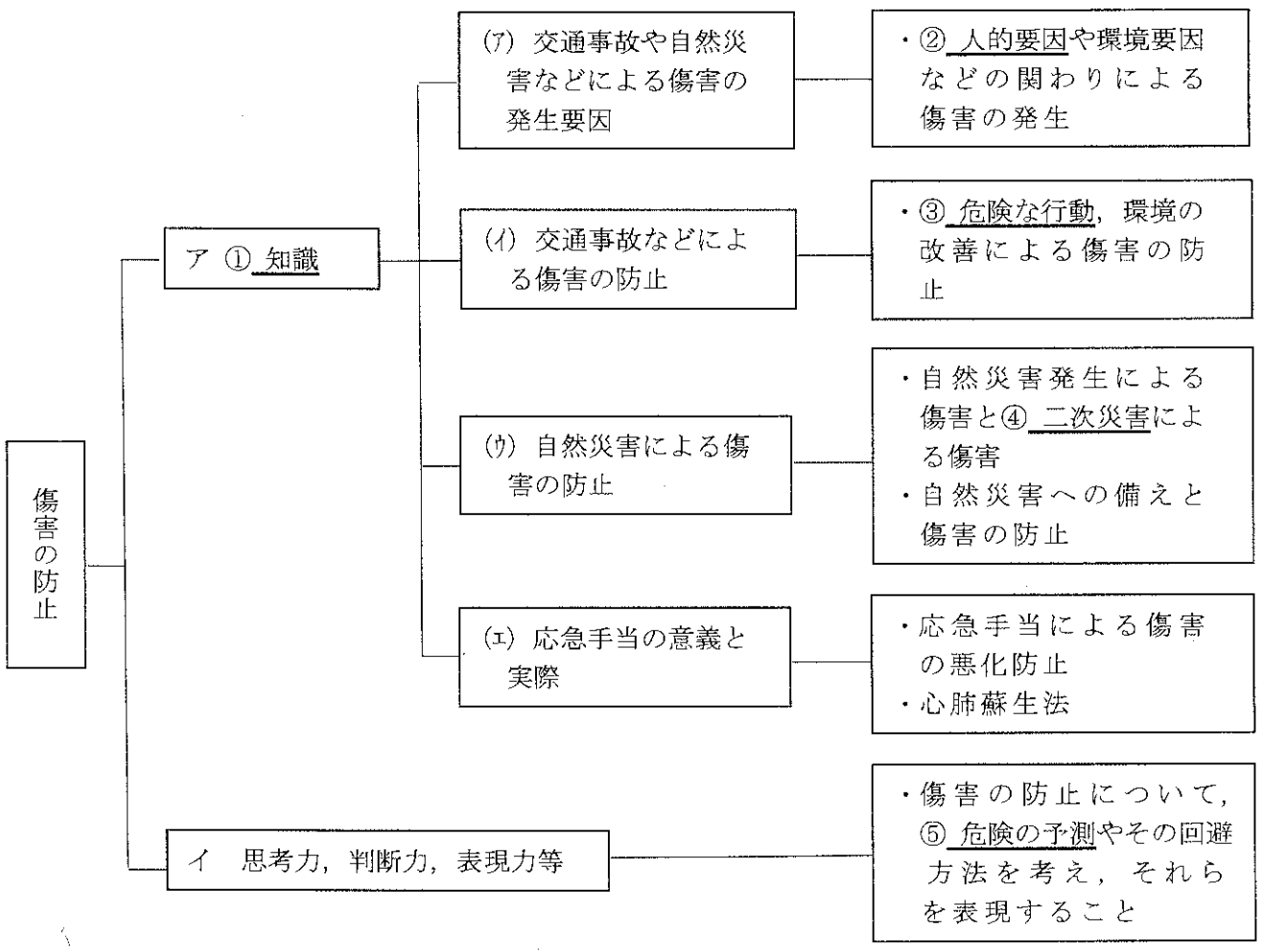
（１）次の文章は、小学校学習指導要領解説　体育編　「第２章　体育科の目標及び内容」の中の「第１節　教科の目標及び内容」の一部である。文中の（　ア　）～（　ウ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。
解答番号は、（　ア　）～（　ウ　）の順に　1　～　3

> 「保健の見方・考え方」とは，疾病や傷害を防止するとともに，生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ，「個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，（　ア　）や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること」であると考えられる。小学校においては，特に身近な生活における課題や情報を，保健領域で学習する（　イ　）やけがの手当の原則及び，（　ウ　）についての概念等に着目して捉え，病気にかかったり，けがをしたりするリスクの軽減や心身の健康の保持増進と関連付けることを意図している。

解答群

①　健康と環境	②　適切な意思決定	③　疾病等のリスクの軽減
④　健康な生活と疾病の予防	⑤　病気の予防	⑥　健康で安全な生活

（２）次の図は、中学校学習指導要領解説　保健体育編　「第２章　保健体育科の目標及び内容」　保健分野　「２　内容」の中の「（３）傷害の防止」で示されたものである。図中の下線部①～⑤のうちから**適当でないもの**を**二つ**選びなさい。
解答番号　4　は**二つ**塗りつぶすこと。



令和６年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　問題（その２）

（３）次の各文は、中学校学習指導要領解説　保健体育編　「第３章　指導計画の作成と内容の取扱い」の中の「１　指導計画の作成」について述べたものである。適当なものを次の①～⑤のうちから**三つ**選びなさい。
解答番号 [5] は**三つ**塗りつぶすこと。

① 保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい場合には、実習の手順や方法が理解できるよう、それらを視覚的に示したり、一つ一つの技能を個別に指導したりするなどの配慮をする。
② 保健分野においては、生徒の健康状態や発育・発達の状況を踏まえ、保健体育科担当の教師が行う保健の指導と保健室等の個別指導との連携・協力を推進し、学習内容を確実に身に付け、一人一人の発達や成長に資するよう留意することが大切である。
③ 保健分野の授業時数は、３学年間で 36 単位時間程度配当すること。
④ 保健分野においては、知識の指導に偏ることなく、資質・能力の三つの柱をバランスよく育むことができるよう、実験や実習等を取り入れるなどの学習過程を工夫することに留意する。
⑤ 「保健」は、原則として入学年次及びその次の年次の２か年にわたり履修させること。

２　学校保健安全法、学校保健安全法施行規則に関する次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１）学校保健安全法について、文中の（　ア　）～（　エ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、（　ア　）～（　エ　）の順に [6] ～ [9]

（学校医、学校歯科医及び学校薬剤師）
第二十三条　学校には、学校医を置くものとする。
２　（　ア　）以外の学校には、学校歯科医及び学校薬剤師を置くものとする。
３　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は、それぞれ医師、歯科医師又は薬剤師のうちから、（　イ　）し、又は委嘱する。
４　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は、学校における（　ウ　）に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事する。
５　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の職務執行の準則は、（　エ　）で定める。

解答群

① 保健管理	② 健康管理	③ 専修学校	④ 任命
⑤ 選出	⑥ 学校保健法施行規則	⑦ 大学	⑧ 文部科学省令

（２）学校保健安全法施行規則第三条に示されている就学時の健康診断の方法及び技術的基準について、適当なものを次の①～⑤のうちから**全て**選びなさい。解答番号 [１０] は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

① 栄養状態は、皮膚の色沢、皮下脂肪の充実、筋骨の発達、貧血の有無等について検査し、栄養不良又は肥満傾向で特に注意を要する者の発見につとめる。
② 視力は、国際標準に準拠した視力表を用いて左右各別に裸眼視力を検査し、眼鏡を使用している者については、当該眼鏡を使用している場合の矯正視力についても検査する。
③ 眼の疾病及び異常の有無は、感染性眼疾患その他の外眼部疾患及び色覚の異常等に注意する。
④ 耳鼻咽頭疾患の有無は、耳疾患、鼻・副鼻腔疾患、口腔咽喉頭疾患及び聴覚障害等に注意する。
⑤ 皮膚疾患の有無は、感染性皮膚疾患、アレルギー疾患等による皮膚の状態に注意する。

（３）次の表は、学校保健安全法施行規則第十八条に示されている「感染症の種類」及び同規則第十九条に示されている「出席停止の期間の基準」である。次の（　ア　）～（　エ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、（　ア　）～（　エ　）の順に　11　～　14

感染症の種類	出席停止の期間の基準
（　ア　）	治癒するまで。
（　イ　）	解熱した後三日を経過するまで。
（　ウ　）	発しんが消失するまで。
（　エ　）	主要症状が消退した後二日を経過するまで。

解答群

①　ジフテリア	②　水痘	③　結核	④　風しん
⑤　百日咳	⑥　咽頭結膜熱	⑦　麻しん	⑧　流行性耳下腺炎

３　学校環境衛生基準に関する次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１）次の各文は、「学校環境衛生基準」（令和４年４月１日施行）の「第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準」について述べたものである。文中の（　ア　）～（　オ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、（　ア　）～（　オ　）の順に　15　～　19

・　温度は、（　ア　）℃以上、28℃以下であることが望ましい。
・　相対湿度は、（　イ　）％以上、（　ウ　）％以下であることが望ましい。
・　教室及び黒板のそれぞれの最大照度と最小照度の比は、（　エ　）：１を超えないこと。
・　教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときはLAeq（　オ　）dB（デシベル）以下であることが望ましい。

解答群

①　10	②　17	③　18	④　20	⑤　30
⑥　50	⑦　55	⑧　60	⑨　70	⑩　80

（２）次の文章は、「学校環境衛生基準」（令和４年４月１日施行）の「第６　雑則」について述べたものである。文中の（　ア　）～（　ウ　）にあてはまる組合せとして最も適当なものを下の①～⑧のうちから一つ選びなさい。解答番号は　20

・　定期及び臨時に行う検査の結果に関する記録は、検査の日から（　ア　）保存するものとする。また、毎授業日に行う点検の結果は記録するよう努めるとともに、その記録を点検日から（　イ　）保存するよう努めるものとする。
・　検査に必要な施設・設備等の図面等の書類は、（　ウ　）保存するものとする。

	（　ア　）	（　イ　）	（　ウ　）
①	３年間	３年間	作成日から１０年間
②	３年間	５年間	必要に応じて閲覧できるように
③	３年間	１年間	作成日から１０年間
④	５年間	３年間	必要に応じて閲覧できるように
⑤	５年間	５年間	必要に応じて閲覧できるように
⑥	５年間	１年間	作成日から１０年間
⑦	５年間	１年間	必要に応じて閲覧できるように
⑧	５年間	３年間	作成日から１０年間

（３）次の文章は、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成３０年度改訂版］」（文部科学省）の「第Ⅱ章　学校環境衛生基準　第１　教室等の環境に係る学校環境衛生基準　２　採光及び照明」に関する内容について述べたものである。適当なものを次の①～⑤のうちから**二つ**選びなさい。解答番号 ２１ は**二つ**塗りつぶすこと。

① 測定者は、測定時の着衣に注意する。白っぽいものは光を反射し、実際より照度が高くなることがある。服装は、光を吸収する黒っぽいものを着用する。測定時の位置、姿勢についても照度に影響を及ぼさないように注意する必要がある。
② 測定位置は、教室では机上、教室以外では床上 100cm を原則とするが、授業の実態に合わせて適切な測定位置を選ぶことが必要である。
③ 黒板の照度を測定する場合には、照度計の受光部の背面を黒板面に密着して照度を測定し、傾斜のある黒板・わん曲している黒板の場合もできるだけ照度計を黒板面に密着させて形状に合わせて測定する。
④ テレビやスクリーン面では中央部分の水平照度を測定する。
⑤ 夜間の学校では、外が暗くなる前に消灯して照度を測定する。

４　「学校において予防すべき感染症の解説〈平成 30(2018)年３月発行〉」（公益財団法人　日本学校保健会）に示されている内容に関する次の（１）、（２）の問いに答えなさい。

（１）次の各文は、出席停止について述べたものである。適当なものを次の①～⑤のうちから**全て**選びなさい。
解答番号 ２２ は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

① インフルエンザの「発症した後５日を経過」については、症状が出た日を１日目として数える。
② 急性灰白髄炎（ポリオ）は、急性期の症状が治癒又は固定するまで出席停止とし、まひが残る慢性期については出席停止の必要はない。
③ 流行性耳下腺炎は「耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日を経過し、かつ全身状態が良好」になった後でも、耳下腺等の腫脹が続いている場合、登校（園）はできない。
④ 流行性耳下腺炎の「耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日を経過」については、最後の腫脹が発現した日を起点に数える。
⑤ 第三種の感染症に分類されている「その他の感染症」として出席停止の指示をするかどうかは、感染症の種類や各地域、学校における感染症の発生・流行の態様等を考慮の上で判断する必要があるため、必ず出席停止を行うべきというものではない。

（２）次の文章は、空気感染（飛沫核感染）について述べたものである。文中の（　ア　）～（　エ　）にあてはまる組合せとして最も適当なもの①～⑥のうちから一つ選びなさい。解答番号は ２３

・ 空気感染は、空気中の塵や飛沫核（（　ア　）μｍ以下の微粒子；空気中を１ｍ以上浮遊）を介する感染である。すなわち、感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、口や鼻から飛散した病原体がエアロゾル化し、感染性を保ったまま空気の流れによって拡散し、同じ空間にいる人もそれを吸い込んで感染する。
・ 空気感染する感染症には、（　イ　）、麻しんや（　ウ　）などがある。麻しんや（　ウ　）は感染力が強く、予防接種を受けることが感染症の発症予防や感染拡大を防ぐための重要な手段となる。なお、空気感染する感染症であっても、飛沫感染や（　エ　）の経路でも感染が拡がることがあるため、咳エチケットや手洗いは感染症対策として重要である。

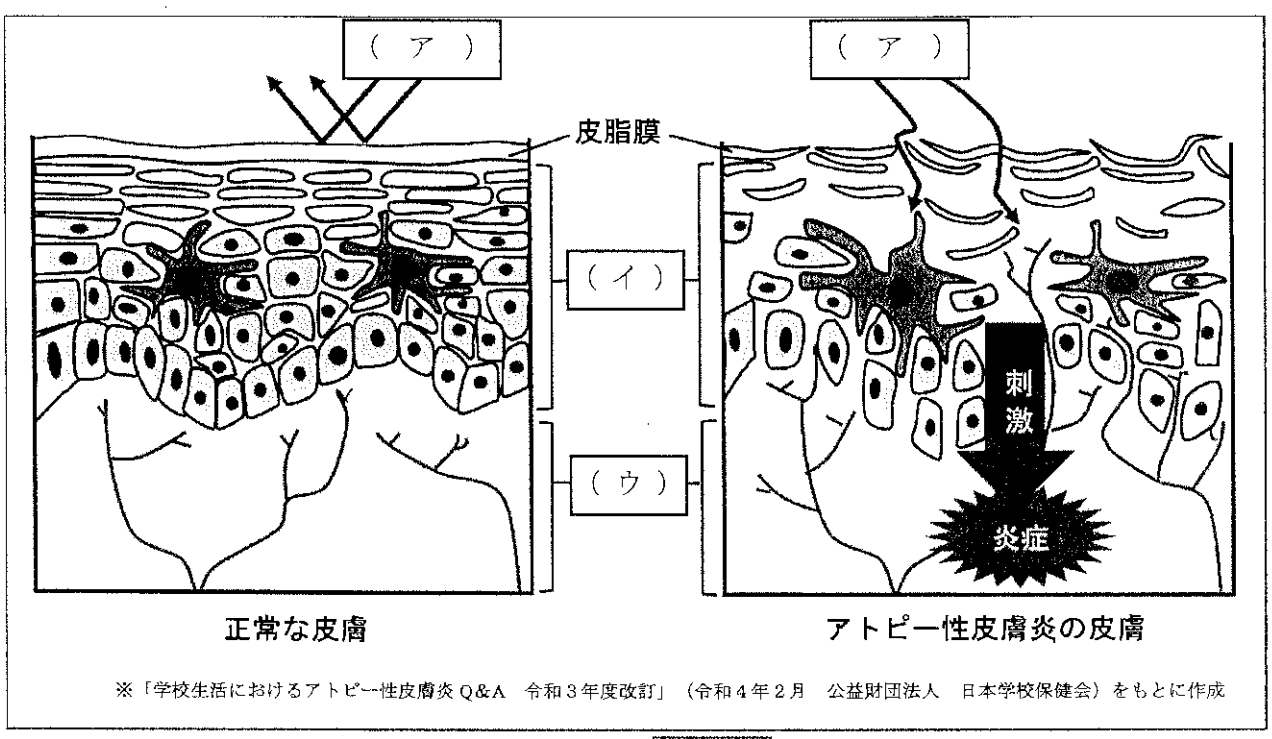
	（　ア　）	（　イ　）	（　ウ　）	（　エ　）
①	5	結核	水痘	接触感染
②	10	結核	水痘	接触感染
③	10	水痘	結核	経口感染
④	5	結核	風しん	接触感染
⑤	5	結核	風しん	経口感染
⑥	10	水痘	風しん	接触感染

250

令和６年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　問題（その５）

５　「学校生活におけるアトピー性皮膚炎Ｑ＆Ａ　令和３年度改訂」（令和４年２月　公益財団法人　日本学校保健会）に示されている内容に関する次の（１）、（２）の問いに答えなさい。

（１）次の図と文章は、「第Ⅰ章　総論　１．疾患概念・病因」について示された内容である。（　ア　）～（　エ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。
解答番号は、（　ア　）～（　エ　）の順に　２４　～　２７



※「学校生活におけるアトピー性皮膚炎 Q&A　令和３年度改訂」（令和４年２月　公益財団法人　日本学校保健会）をもとに作成

図　アトピー性皮膚炎の　（エ）　機能の低下

・　皮膚は体の一番表層にあり、様々な刺激や物質の侵入から体の内部を守り、また、体内の水分が蒸散することを防いでいる。その一番外側で働いているのが角層と呼ばれる部分で、その働きは（　エ　）機能とよばれる。
・　アトピー性皮膚炎では、皮膚の（　エ　）機能が低下しているところに様々な刺激や（　ア　）が加わって湿疹を生じる。

解答群

①　調節	②　基底膜	③　知覚	④　表皮	⑤　アレルゲン
⑥　抗体	⑦　バリア	⑧　真皮	⑨　ランゲルハンス細胞	

（２）次の各文は、アトピー性皮膚炎について述べたものである。適当なものを次の①～⑤のうちから**全て**選びなさい。
解答番号　２８　は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

①　顔面の湿疹がひどい場合は、円錐角膜、白内障、網膜剥離のような眼の合併症を来たしやすい。
②　アトピー性皮膚炎は年齢とともに湿疹の出やすい場所が変化し、幼児期・学童期（２歳から 12 歳）では手首、足首、肘や膝のくぼみ、おしりなど擦れやすい場所に湿疹が見られる。
③　ダニや家のホコリ、花粉、ペットの毛、食べ物はアトピー性皮膚炎の悪化要因として有名であり、すべての患児に当てはまるので、一律にこれらに対する予防策を講じる必要がある。
④　学校は、アトピー性皮膚炎のある児童生徒等で、学校での取組を希望する保護者に対して、管理指導表の提出を求め、提出された管理指導表に基づいて、保護者と協議して取組を実施するのが原則である。
⑤　アトピー性皮膚炎の重症度のめやすとして、強い炎症を伴う皮疹が体表面積の１０％以上、３０％未満にみられる場合は中等症と分類される。

令和６年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　問題（その６）

6　「熱中症環境保健マニュアル２０２２」（令和４年３月改訂　環境省）に示されている内容に関する次の（１）、（２）の問いに答えなさい。

（１）熱中症に関する記述として適当なものを次の①～⑤のうちから**三つ**選びなさい。
解答番号 [２９] は**三つ**塗りつぶすこと。

① 汗をたくさんかく場合には、塩分の補給が必要であり、0.1～0.2%程度の食塩水（１ℓ の水に１～２g の食塩）が適当である。
② 高温、多湿、風が弱い、輻射源（熱を発生するもの）がある等の環境では、体から外気への熱放散が増加し、汗の蒸発が多くなるため熱中症が発生しやすくなる。
③ 体力のない人、肥満の人、暑さに慣れていない人は熱中症を起こしやすいので、運動を軽減する。また、下痢・発熱・疲労等体調の悪いときは熱中症を起こしやすいので、無理をしない。
④ 「熱中症予防運動指針」の暑さ指数（WBGT）28 以上 31 未満は「警戒」であり、熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30 分おきくらいに休憩をとる。
⑤ 熱中症の重症度・緊急度から見れば熱中症はⅠ度、Ⅱ度、Ⅲ度に分類されるが、病態（症状）から見た分類もある。

（２）次の文章は、熱中症の症状について述べたものである。文中の（　ア　）～（　カ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、（　ア　）～（　カ　）の順に [３０] ～ [３５]

・ 軽症である（　ア　）は「立ちくらみ」、同様に軽症に分類される（　イ　）は全身けいれんではなく「筋肉のこむら返り」である。中等症に分類される（　ウ　）では、全身の倦怠感や脱力、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢等が見られる。最重症は（　エ　）と呼ばれ、高体温に加え意識障害と（　オ　）が主な症状である。
・ 重症度を判定するときに重要な点は、意識がしっかりしているかどうかであり、少しでも意識がおかしい場合には、（　カ　）と判断し病院への搬送が必要である。

解答群

① 大量の発汗	② 失神	③ 熱射病	④ 熱性けいれん	⑤ 発汗停止
⑥ Ⅰ度（軽症）	⑦ 熱けいれん	⑧ Ⅱ度（中等症）以上	⑨ 熱疲労	⑩ 熱失神

7　次の各文は、「改訂６版　救急蘇生法の指針 2020（市民用）」（2021 年９月発行　日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修）に示されている一次救命処置について述べたものである。**適当でないもの**を次の①～⑤のうちから**二つ**選びなさい。
解答番号 [３６] は**二つ**塗りつぶすこと。

① 普段どおりの呼吸があるか傷病者の上半身をみて、10 秒以内で胸と腹の動き（呼吸をするたびに上がったり下がったりする）を観察する。
② 胸骨圧迫の深さは、傷病者の胸が約５cm沈み込むように強く、速く、絶え間なく圧迫する。小児では胸の厚さの約 1/3 沈み込む程度に圧迫する。
③ 人工呼吸を行う技術と意思がある場合には、胸骨圧迫に人工呼吸を組み合わせ、30：１の回数で繰り返し行う。
④ 未就学児の傷病者にＡＥＤを使用する場合、未就学児用パッドや未就学児用モードの切り替えがなければ小学生～大人用パッドを使用する。
⑤ 突然の心停止直後のしゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸は「死戦期呼吸」と呼ばれるもので、ただちに胸骨圧迫をする必要はない。

8　次の各文は、「スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）」（令和２年 12 月初版　独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部）に示されている頭頚部外傷を受けた（疑いのある）児童生徒に対する注意事項について述べたものである。適当なものを次の①～⑤のうちから**全て**選びなさい。解答番号 [３７] は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

① 意識障害は脳損傷の程度を示す重要な症状であり、意識状態を見極めて、対応することが重要である。
② 脳の損傷は、頭が揺さぶられるだけで発生することがあり、意識が回復した後でも、急性硬膜下血腫等の重大な出血が脳に起きている場合がある。
③ 頭の怪我は、時間が経つと症状が変化し、目を離しているうちに重症となることがある。外傷後、少なくとも３時間は観察し、患者を１人きりにしてはいけない。
④ 繰り返し頭部に衝撃を受けると、重大な脳損傷が起こることがあるため、スポーツへの復帰は慎重にする。
⑤ 頚椎や頚髄損傷を起こしている可能性がある場合は、速やかに救急要請をかける。生命の維持には気道確保が最優先であり、意識がない場合は、まず、そのままの位置で呼吸を確認する。うつ伏せに倒れている場合は、人手が揃うまでそのままの位置で観察する。

令和６年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　問題（その７）

９　「子供の運動器の健康　学校における運動器検診の手引（令和４年２月発行）公益財団法人　日本学校保健会」に示されている内容に関する次の（１）、（２）の問いに答えなさい。

（１）次の表は、小児期の主な運動器疾患について示したものである。表中の（　ア　）～（　エ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。
解答番号は、（　ア　）～（　エ　）の順に　38　～　41

（　ア　）	発育期に大腿骨近位骨端部（骨端核）が阻血性壊死をきたす疾患である。大腿骨頭の陥没変形、扁平巨大化などの変形を生じる。年齢は６～７歳くらいが多く、また男子に多い。
（　イ　）	すねの骨（脛骨）の骨膜が炎症を生じ、痛みを出す疾患である。ランニングやジャンプを繰り返すことでヒラメ筋の付着部で炎症を生じる。ＭＲＩの所見から疲労骨折との関連性も指摘されており、放置すると重症化する危険性があり、早期に見つけて適切な休養が必要である。
（　ウ　）	腰椎椎弓の疲労骨折である。疲労骨折が骨癒合せずに偽関節になった状態も含む。青少年期の過度のスポーツが原因と考えられることから、青少年の腰痛の原因疾患の１つとして重要である。多くは第５腰椎に発生する。
（　エ　）	踵骨の骨端症である。踵の骨端は解剖学的に血流障害が起こりやすく、アキレス腱の牽引や、荷重の負荷が加わることにより骨端部に痛みが生じる。安静（スポーツ休止、インソールなど）、アキレス腱のストレッチングなどで改善することが多い。

解答群

①　発育性股関節形成不全	②　大腿骨頭すべり症	③　ランナー膝	④　シンスプリント
⑤　腰椎分離症・すべり症	⑥　腰椎椎間板ヘルニア	⑦　ペルテス病	⑧　足根骨癒合症
⑨　シーヴァー病（セヴァー病）			

（２）次の文章は、運動器検診の際の留意ポイントについて示したものである。適当なものを次の①～④のうちから**全て**選びなさい。解答番号　42　は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

①　肩関節の可動性は前方より観察して、児童生徒等の両肘関節を伸展させた状態で上肢を前方挙上させて痛みや動きの異常の有無を検査する。前腕が耳につくか否かに注意する。
②　肘関節の可動性は側面より観察して、児童生徒等の両前腕を回外させて、手掌を上に向けた状態で肘関節を屈曲・伸展させて異常の有無を検査する。
③　しゃがみ込みの検査は、立位で、肩幅程度に両足を開き、両手を前ならえの姿勢でしゃがみ込み動作ができるか、しゃがみ込むと痛みがあるかどうかを調べる。その際、踵は浮いてもかまわない。
④　片脚立ちが５秒以上できるか検査する際は、ふらつきがないか左右ともチェックする。

１０　次の文章は、「児童生徒の健康診断マニュアル　平成２７年度改訂」（平成２７年８月　公益財団法人　日本学校保健会）に示されている脊柱側わん症について述べたものである。次の（　ア　）～（　オ　）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、（　ア　）～（　オ　）の順に　43　～　47

・　脊柱側わん症は脊柱が何らかの原因により側方、かつ捻れを伴いわん曲した病態である。その中には捻れを伴わず、姿勢性、疼痛性、ヒステリー性、脚長差によるものなどの（　ア　）側わん症も含まれており、捻れを伴う構築性側わん症とは明確に区別されている。
・　健康診断の目的は捻れを伴う構築性側わん症のなかでも（　イ　）脊柱側わん症の早期発見である。その特徴は脊柱の回旋（捻れ）変形であり、（　ウ　）テストにおいて背部の高さの左右差が生じる原因となっている。
・　側わんの大きさは側わん角度（（　エ　）角）で表される。（　エ　）角が（　オ　）度以下では悪化しない症例が 30% 前後ある。

解答群

①　単純性	②　特発性	③　機能性	④　症候性	⑤　前屈
⑥　後屈	⑦　モアレ	⑧　Cobb	⑨　30	⑩　25

令和６年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　問題（その８）

１１　「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月 公益財団法人 日本学校保健会）に示されている内容に関する次の（１）～（４）の問いに答えなさい。

（１）次の各文は、学校における健康相談の基本的理解について述べたものである。適当なものを次の①～④のうちから**全て**選びなさい。解答番号 ４８ は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

① 健康相談の目的は、児童生徒の心身の健康に関する課題について、児童生徒や保護者等に対して、関係者が連携し相談等を通して課題の解決を図り、学校生活によりよく適応していけるように支援していくことである。
② 健康診断の結果、継続的な観察指導を必要とする者は健康相談の対象者にしない。
③ 健康相談の課題の把握に当たっては、健康観察をはじめ情報の収集に当たり、養護教諭や学校医等と連携して的確な課題把握に努めることが大切である。
④ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師等の医療的見地から行う健康相談・保健指導の場合は、事前の打合せは必要ない。

（２）次の表は、発達段階別心身の健康問題の特徴と理解について述べたものである。表中の（ ア ）～（ エ ）にあてはまる最も適当なものを下の解答群からそれぞれ一つずつ選びなさい。ただし、同じ番号を何回使ってもよい。
解答番号は、（ ア ）～（ エ ）の順に ４９ ～ ５２

発達段階	心身の健康問題の特徴
（ ア ）	ホルモン内分泌器官の発達が盛んになり、身体が急速に変化する、性衝動や初経、ひげが生えるなどがみられ、とまどいや罪悪感をもちつつ、一定の対応もできてくる。
（ イ ）	自分自身の精神状態を十分には自覚できず、言葉で上手く表現できないことが多い。
（ ウ ）	心身の発達が大人に近付き、知識や行動範囲の広がりとともに、ほぼ成人同様のメンタルヘルスの問題がみられる。
（ エ ）	学校教育を通じて高度な心身の活動が継続する時期であるが、心身のバランスはよくとれ、疾病にかかることは比較的少なく、成長期のうちで最も安定した時期に相当する。

解答群

① 学童期（小学校）	② 青年前期（中学校）	③ 青年後期（高等学校）

（３）次の各文は、学校における健康相談の進め方と支援体制づくりについて述べたものである。基本的な相談技術及び留意点として、適当なものを次の①～⑤のうちから**三つ**選びなさい。解答番号 ５３ は**三つ**塗りつぶすこと。

① 相談者の説明や気持ちを確認しながら話を進める。
② 対面する座り方のほか、斜めあるいは 90 度に座ると緊張感が増す。
③ 相談時間は一般的に 50 分を上限とし、いたずらに長時間にならないよう心がけることが基本であるが、児童生徒の状況に合わせて柔軟に対応する。
④ 児童生徒は、学校での様子と家庭での様子が異なる場合があることを認識する。
⑤ 守秘義務については相談者に伝えない。

（４）次の各文は、学校における健康相談の進め方と支援体制づくりについて述べたものである。健康相談の基本的なプロセスとして、適当なものを次の①～④のうちから**全て**選びなさい。解答番号 ５４ は適当なものを**全て**塗りつぶすこと。

① 健康相談は、本人や教職員の負担にならないよう必ず１回で終わらせる。
② 定期的に校内委員会(組織)を開催し、情報交換、支援検討会議(事例検討会)、経過から支援方針や支援方法を見直し、改善・評価を行う。
③ 最初から心の問題だと決めつけることのないようにする。
④ 児童生徒の心身の健康課題の背景は多様化しているが、課題の把握に当たっては、保健室で得た情報で十分な場合が多い。

令和6年度千葉県・千葉市公立学校教員採用候補者選考　養護教諭　正答

問題番号	設問		解答番号	正答	配点	
1	(1)	ア	1	3	2	
		イ	2	5	2	
		ウ	3	6	2	
	(2)		4	1 3	3	完答
	(3)		5	1 2 4	3	完答
2	(1)	ア	6	7	1	
		イ	7	4	1	
		ウ	8	1	1	
		エ	9	8	1	
	(2)		10	1 2 5	3	完答
	(3)	ア	11	1	2	
		イ	12	7	2	
		ウ	13	4	2	
		エ	14	6	2	
3	(1)	ア	15	3	1	
		イ	16	5	1	
		ウ	17	10	1	
		エ	18	4	1	
		オ	19	6	1	
	(2)		20	4	2	
	(3)		21	1 3	3	完答
4	(1)		22	2 5	3	完答
	(2)		23	1	2	
5	(1)	ア	24	5	2	
		イ	25	4	2	
		ウ	26	8	2	
		エ	27	7	2	
	(2)		28	1 2 4	3	完答

問題番号	設問		解答番号	正答	配点	
6	(1)		29	1 3 5	3	完答
	(2)	ア	30	10	1	
		イ	31	7	1	
		ウ	32	9	1	
		エ	33	3	1	
		オ	34	5	1	
		カ	35	8	1	
7			36	3 5	2	完答
8			37	1 2 3 4 5	3	完答
9	(1)	ア	38	7	2	
		イ	39	4	2	
		ウ	40	5	2	
		エ	41	9	2	
	(2)		42	1 2 4	3	完答
10		ア	43	3	2	
		イ	44	2	2	
		ウ	45	5	2	
		エ	46	8	2	
		オ	47	10	2	
11	(1)		48	1 3	3	完答
	(2)	ア	49	2	1	
		イ	50	1	1	
		ウ	51	3	1	
		エ	52	1	1	
	(3)		53	1 3 4	2	完答
	(4)		54	2 3	3	完答